

vol.71

メディカルはこだて

Medical Hakodate 《2019 September》

函館・道南の医療・介護・福祉の雑誌

特集

病院に新しい風を吹き込む8人の医師

専門性を発揮した質の高い医療を提供

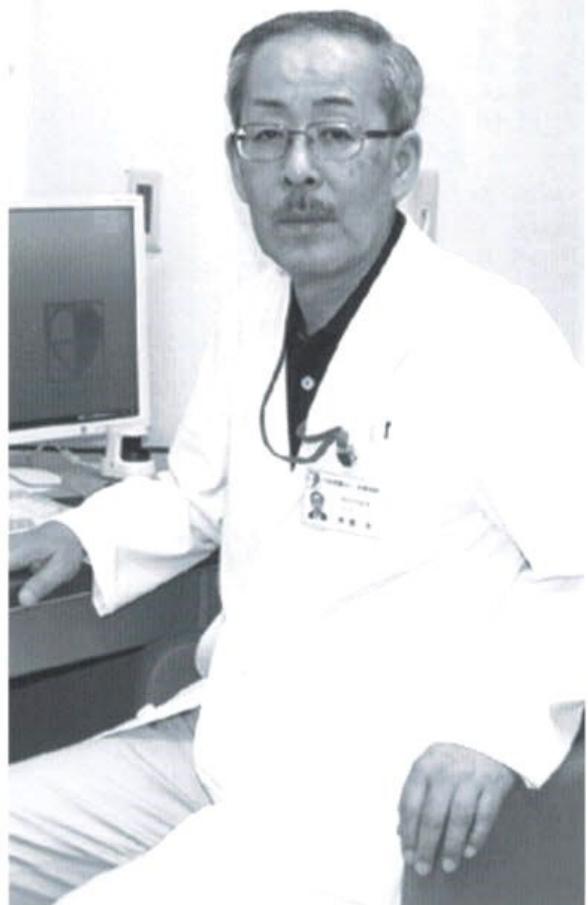


島根県立中央病院副院長から高橋病院へ
整形外科とリハビリテーション科を担当

島根県内で唯一の高度救命救急センターなど、高度で専門的な医療を担う県の基幹的病院である島根県立中央病院（島根県出雲市）の副院長を務めた齊鹿稔医師が、今年4月から高橋病院（高橋肇理事長）の整形

外科・リハビリテーション科の担当医師として勤務している。

高橋病院整形外科・リハビリテーション科
齊鹿 稔



持つていましたが、医学部の先輩に誘われて整形外科医になることを決意しました」。昭和53年大学卒業後は山口大学医学部整形外科に入局。関連病院にて診療経験を重ね、山口大学医学部附属病院では一般外科に加えて脊椎外科を専門とした。

を続けることを望んできた
「島根県立中央病院では十分に役割を果たしたという自負もあり、自分の持つて いるスキルを發揮できる新たな場所を探していました。リセットする意味でも関西を超えた地域を考えていって関東地区の千葉や埼玉などは有力な候補でしたが、動線を考えると両館は利便性が高かつたです」。毎週火曜から金曜まで診療を行い整形外科外来と通所リハビリを担当している。

同病院のリハビリテーション科は理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリスタッフが70人を超える。「当院のリハビリスタッフは若い人が多いのですが、優秀なセラピストが揃っています。熱意があり、真摯に取り組んでいる姿勢も高く評価できます。整形外科の診療では、患者の話にしっかりと耳を傾けます。高齢者が多いので、丁寧な説明も心がけています。毎週、島根県から飛行機で通っていますが、移動はまったく苦にはなりません。それと函館の住み心地はとても良いですよ」。

さいか
昭和53年山口大学医学部医学
科卒業。
山口大学医学部附属病院や大
学関連病院を経て、平成7年
島根県立中央病院整形外科部
長に就任。中央診療部長や外
科診療部長、次長、医療技術
局長、医療局長、入退院支援
・地域医療連携センター長、
副院長などの役職を歴任。
平成31年4月高橋病院に着任。
日本整形外科学会整形外科専
門医。